

管内における雇用環境や人材確保 の状況等について (市村)

【鹿児島所管内】

1 鹿児島市の現状と取組等

資料 3 - 1

2 十島村の現状と取組等

資料 3 - 2

【伊集院所管内】

3 日置市の現状と取組等

資料 3 - 3

4 いちき串木野市の現状と取組等

資料 3 - 4

令和5年6月14日
鹿児島地域人財確保・育成推進協議会

鹿 児 島 市

現 状

【市内企業の雇用環境、人材定着について】
 (令和4年度鹿児島市勤労者労働基本調査)

○ 人員体制の状況

「足りていない」53.0% (「宿泊業、飲食サービス業」65.9%、
 「建設業」62.5%、「サービス業」62.2%)

○ 現在の人材確保への取組

「中途採用の推進」55.0%、「給与アップ・福利厚生の充実」39.9%

○ 今後の人材確保への取組

「給与アップ・福利厚生 of 充実」33.5%、「中途採用の推進」32.5%

○ 定着率向上のために一番重要なこと

「賃上げなど給与の充実」36.5%、「職場の雰囲気」29.6%

【本市の地元定着、人材確保に資する取組】

本市においては若者の地元定着推進への取組として、産学官が連携して検討を進める会議を年1回開催するとともに、人材の確保や雇用機会の拡大を図るため、連携中枢都市圏(日置市・いちき串木野市・始良市)の4市による合同企業説明会を実施しているほか、4年度からは鹿児島市を生活や就労場所の候補として考えてもらえるよう、就職活動を控えた大学生に向けた出前授業を実施している。

意 見, 課 題 等

人手不足の状況は当面は解消しないと思われる。魅力ある就業環境、働きやすく、働きがいを持てる職場づくり、多様で柔軟な働き方等、求職者に選んでもらえるための環境整備が今後より一層必要になっていくと思われる。

令和5年度人材確保・育成に係る事業(取組)

鹿児島市

○ 実施事業

鹿児島市において、人材確保に関連して実施している事業(取組)について

【事業テーマ】

- ① 若年者等の県内定着の促進に係る取組
- ② UIターンの促進(県外大学生や早期退職者等)に係る取組
- ③ 県内企業の魅力や競争力のアップに係る取組
- ④ 外国人材を含めた多様な人材の活躍支援に係る取組
- ⑤ 地域産業・県民生活を支える人材の確保・育成に係る取組

番号	事業・施策名	テーマ	実施時期	事業内容	備考
1	かごしまで働きたい若者応援会議運営事業	①	令和5年2月 令和6年2月(予定)	若者の地元定着推進への取組について、産学官が連携して検討を進める。	継続
2	若者の地元就職促進等に向けた訪問要請	①	令和4年5月 令和5年5月	市職員が、経済団体等を直接訪問し、地元就職推進等に向けた要請を行う。	継続
3	高校生ステップアップセミナー	①	令和4年7月 令和5年7月(予定)	高校3年生を対象に、講話や面接試験への対応などの研修を行う。	継続
4	新就職者激励大会	⑤	令和5年3月 令和6年3月(予定)	市内の新就職者を激励するとともに、ビジネスマナーの研修等を実施する。	継続
5	ワカモノ×カゴシマン魅力再発見事業	①	令和4年7月 令和5年5月～6月 (計3回実施予定)	就職活動を控えた大学生に向けた出前授業を実施する。	継続
6	連携中枢都市圏合同企業説明会開催事業	⑤	令和5年1月 令和6年1月(予定)	連携中枢都市圏を形成する4市で合同企業説明会を開催し、圏域全体で人材の確保や雇用機会の拡大を図る。	継続
7	若者就職応援フェア「みらいワーク“かごしま”」開催事業	①	令和5年12月 令和6年12月(予定)	地元の企業等が一堂に会し、中学生をはじめとする若い世代への企業等の魅力発信や情報提供を労働局や県と連携して行う。	継続
8	移住・就業等支援事業	②	令和4年4月 ～ 令和6年3月	東京23区の在住者または23区への通勤者が、鹿児島市内に移住し、中小企業等に就業または起業した場合、もしくは本人の意思により鹿児島市に移住し、テレワークを実施している場合に移住支援金を支給する。	継続
9	留学生人材確保推進事業	④	令和5年度	留学生を対象とした職場見学会を開催する。	継続

人材確保に係る事業（取組）

資 料

鹿児島市産業局産業振興部雇用推進課

1 かごしまで働きたい若者応援会議運営事業

18歳人口をはじめとする若者の流出抑制に向け、地元定着やUターンを図るための地元産業及び企業等の魅力発信や職業教育における地域貢献の意識醸成等への取組の推進について、産学官が連携して検討を進める。

【構成団体】

・産業界	県経営者協会ほか	8団体
・教育界	鹿児島大学キャリア形成支援センターほか	5団体
・行政	鹿児島労働局ほか	6団体

2 若年者就職サポート事業

① 若者の地元就職促進等に向けた訪問要請

市職員が、経済団体等を直接訪問し、地元就職促進等に向けた要請を行う。

② 高校生ステップアップセミナーの開催

就職を控えた市内の高校3年生を対象に、勤労観や職業観の醸成を図るため、ハローワーク職員による最近の雇用情勢等の講話、就職活動の心構えと面接の研修、高校生を採用予定の地元企業の人事担当者による企業側が求める人材等に関する講話を実施する。

年度	参加高校数	参加者数
R2	5校	401人
R3	8校	594人
R4	7校	456人

※2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、参加人数の多い5校へ訪問し、面接の研修のみ実施。

③ 新就職者激励大会の開催

市内の事業所に就職する新規学卒者等を対象に、職場定着の意識の醸成を図るため、鹿児島公共職業安定所、鹿児島商工会議所等の経済団体と共に、社会人としての門出を激励するとともに、ビジネスマナーの研修等を実施する。

年度	参加事業所数	参加者数
R2	48事業所	152人
R3	42事業所	137人
R4	39事業所	143人

④ ワカモノ×カゴシマシ魅力再発見事業

若者の地元定着のため、就職活動を控えた大学生に向けた出前授業を実施し、鹿児島市を生活や就労場所の候補として印象付ける。

年度	開催場所	対象者
R 4	鹿児島国際大学	鹿児島国際大学2年生（77人参加）

3 連携中枢都市圏合同企業説明会開催事業

連携中枢都市圏を形成する4市（鹿児島市、日置市、いちき串木野市、姶良市）で合同企業説明会を開催し、圏域全体で人材の確保や雇用機会の拡大を図る。

年度	時期	場所	参加事業所数	参加者数
R 2	1月11日（月・祝）	かごしま県民交流センター	62社	122人
R 3	1月10日（月・祝）	かごしま県民交流センター	63社	118人
R 4	1月9日（月・祝）	かごしま県民交流センター	64社	120人

年度	本市参加企業数	本市参加者数	本市採用者数
R 2	39社	78人	8人
R 3	41社	68人	3人
R 4	40社	64人	6人

4 若者就職応援フェア「みらいワーク“かごしま”」開催事業

若者の市外流出抑制に向け、地元企業に対する理解促進等を図るため、地元の企業等が一堂に会し、中学生をはじめとする若い世代への企業等の魅力発信や情報提供を労働局や県と連携して行う。

年度	時期	場所	参加者数
R 2	11月1日（日）	かごしま県民交流センター	610人
R 3	12月12日（日）	かごしま県民交流センター	942人
R 4	12月11日（日）	かごしま県民交流センター	797人

5 移住・就業等支援事業

U I J ターンによる起業・就業者の創出を図るため、東京23区の在住者または23区への通勤者が、鹿児島市内に移住し、中小企業等に就業または起業した場合、または本人の意思により鹿児島市内に移住し、テレワークを実施している場合に移住支援金を支給する。18歳未満の世帯員を帯同して移住する場合は18歳未満の者1人につき最大100万円（4年度は30万円）を加算する。

年度	申請件数	交付決定件数
R 2	8件	8件
R 3	21件	21件
R 4	28件	28件

6 留学生人材確保推進事業

在学中から鹿児島県の産業や事業所への理解促進を図り、卒業後も鹿児島県で活躍する有能な人材を確保するため、留学生を対象とした職場見学会を開催する。

年度	実施回数	参加者
R元	2回	34人

※2年度～4年度は未実施及び休止

十 島 村

現 状

- ・ 民間企業の参入がない地域であることから、新卒者の就業は見込めない。
- ・ 村の看護師、保育士、及び介護職は、経験者を対象に募集しているが、応募者が不足している状況が続いている。
- ・ 一次産業では、地域おこし協力隊のほか、新規に就業を希望する I U ターン者向けに、育成を支援しているが、申込者数は低調で、地域おこし協力隊の任期、又は新規就業者支援の期間を終えた者の定着率は低い状況にある。
- ・ 本土に居住する定期船の乗組員についても、応募者が無い状況が続いている。

意 見, 課 題 等

- ・ 民間のアパート等はないことから、村で住宅を建設しなければならないが、多額の費用を要するため、一年に建設できる住宅は限られる。
- ・ 求人に対して、応募者が少ないため、新聞等を活用しているが、問い合わせも少ない状況である。
- ・ 一次産業では、生産過程から流通において、条件が不利な点（輸送時間、コスト、耕作面積）が多く、特に耕種農業等においては、育成する体制の充実を図る必要がある。

日 置 市

現 状

- ・ 別紙資料のとおり

意 見, 課 題 等

- ・ 別紙資料のとおり

令和5年度人材確保・育成に係る事業(取組)

日置市

○ 実施事業

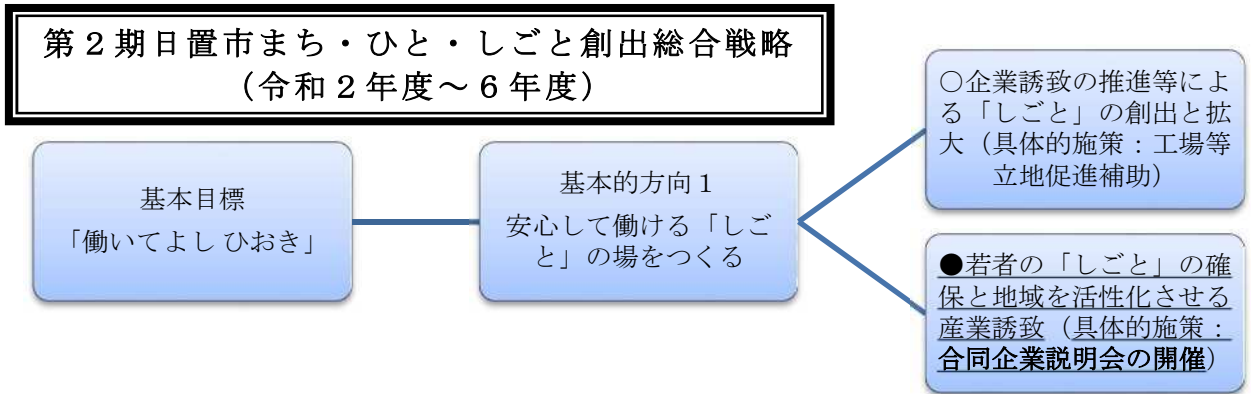
日置市において、人材確保に関連して実施している事業(取組)について

【事業テーマ】

- ① 若年者等の県内定着の促進に係る取組
- ② UIターンの促進(県外大学生や早期退職者等)に係る取組
- ③ 県内企業の魅力や競争力のアップに係る取組
- ④ 外国人材を含めた多様な人材の活躍支援に係る取組
- ⑤ 地域産業・県民生活を支える人材の確保・育成に係る取組

番号	事業・施策名	テーマ	実施時期	事業内容	備考
1	日置市異業種交流懇話会	①	令和4年4月	33会員(地元企業28、金融機関4、当市)で構成され、日置市内で活動する異業種企業間の交流を進め、それぞれが抱える課題の解決を図る。各企業の人事採用担当者を対象としたSNS研修会など、時代に合わせた企業の情報・魅力発信の促進を図る。	継続
2	企業の魅力ある説明会	①	令和4年6月	地元企業と県内高校(進路指導担当者)との情報交流を通して、県内高校生への市内企業の情報発信ならびに今後の就職活動におけるさらなる促進強化を図る。	継続
3	しごと発見！高校生のための合同企業セミナー	①	令和5年2月	日置市内に住む又は通学する高等学校2年生を対象に、地元企業担当者にブースにて自社PRを実施していただき、知らなかった地元企業の発見ならびに魅力を実感いただくことで若年者の市内定着を図る。	継続
4	連携中枢都市圏4市合同企業セミナー	⑤	令和5年1月	日置市、鹿児島市、始良市、いちき串木野市で就職希望の方と、当市立地企業採用担当者との面談を通して新規就業者等の確保を図る。	継続

1 日置市



(具体的な施策)

① 連携中枢都市圏4市合同企業セミナー (1月成人の日開催)

- 対象者：日置市、鹿児島市、始良市、いちき串木野市で就職希望の方(新卒者・新卒以外は問わない)
- 会場：県民交流センター
- 参加者：120名(新卒20名、新卒以外100名) ※日置市居住者10名

② しごと発見! 高校生のための合同企業セミナー (2月下旬開催)

- 対象：日置市内に住む又は通学する高等学校2年生(保護者)
- 会場：日置市伊集院総合体育館
- 参加者：高校生 55名 参加企業：33社

2 日置市異業種交流懇話会 (33会員) 地元企業28、金融機関4、日置市

(1) 設立日：平成17年11月(日置市合併の年)

(2) 目的：日置市内で活動する異業種企業間の交流を進め、それぞれが抱える課題の解決を図りながら、新たな産業の創出や新たな商品開発に取り組み、地域における就業機会の増大を促進し、日置市全体の活性化を図る。

(主な活動)

① 企業の魅力ある説明会 (6月末に開催⇔7月以降就職活動開始)

1. 目的：地元企業の就職環境は担い手不足や県外流出で厳しい状況の中にあって、地元企業と県内高校(進路指導担当)との情報交流をはじめ、今後の就職活動におけるさらなる促進強化を図る。
2. 参加校：15校(うち地元3校) 参加企業：31社

② 日置市異業種交流懇話会と吹上高校との交流会(工場見学)

1. 開催時期：1月下旬(2日間) ※令和2年度：第14回
2. 対象：1年生及び2年生の全生徒(工場見学は2年生のみ)
3. 交流会(1日目) 吹上高校体育館
- ◇ 卒業生からのメッセージ(会員企業就職者)、講話(会員企業代表)、参加会員企業からの会社概要説明、意見交換会
4. 工場見学(2日目) 会員企業視察(科別：1科3企業)

※令和4年度は大雪による天候不良のため交流会のみ中止

いちき串木野市

現 状

本市の主力産業である製造業をはじめ、他産業においても人口減少や少子高齢化が進むことによる労働力不足に伴う生産性の低下など、地域の活力の低下が懸念されている。

市の雇用対策事業として、令和2年4月に求職者の就職促進及び人手不足の解消を図ること目的とした「市立ハローワーク（無料職業紹介所）」を設置、また高校生との集団面談会を実施し、地元企業定着の対策も図っている。

また、令和2年1月に高齢者の雇用促進等を目的とした「市生涯現役促進協議会」を設立し、令和2年5月より厚生労働省委託事業「生涯現役促進地域連携事業」を実施した（令和4年度終了）。

意 見, 課 題 等

「市立ハローワーク」、「市生涯現役促進協議会」による事業を実施しているが、本市の主力産業の製造業をはじめ、医療・福祉、建設業など、市内事業所の人手不足の解消・人材確保までは至っていない。

今後は、2つの事業の取り組みをさらに広く周知し、認知されることにより人材確保に繋げたい。

また、地域の実情にあった雇用の支援に取り組んでいることより、雇用対策については、関係機関との連携が重要であり引き続き連携を図っていきたい。

令和5年度人材確保・育成に係る事業(取組)

いちき串木野市

○ 実施事業

いちき串木野市において、人材確保に関連して実施している事業(取組)について

【事業テーマ】

- ① 若年者等の県内定着の促進に係る取組
- ② Uターン促進(県外大学生や早期退職者等)に係る取組
- ③ 県内企業の魅力や競争力のアップに係る取組
- ④ 外国人材を含めた多様な人材の活躍支援に係る取組
- ⑤ 地域産業・県民生活を支える人材の確保・育成に係る取組

番号	事業・施策名	テーマ	実施時期	事業内容	備考
1	雇用対策事業	①	令和5年4月 ～ 令和6年3月	市内高校等の生徒を対象とした市内企業の説明会や、女性を対象とした再就職や職場環境づくり、キャリアアップをテーマとしたセミナーの開催。 また、連携中枢都市圏を形成する4市(鹿児島市・日置市・始良市・いちき串木野市)で合同企業説明会を開催。	
2	市立ハローワーク運営事業	①	令和5年4月 ～ 令和6年3月	令和2年4月2日に「市立ハローワーク(無料職業相談所)」を設置し、地元企業への求職者の就職促進及び人手不足の対策を図っている。	
3			以下余白		
4					
5					

【いちき串木野市】人材確保のための各種施策

1. 雇用対策事業

①セミナー等の開催

(1) 高校生のための合同企業説明会

市内高校等（串木野高校、市来農芸高校、神村学園専修学校）の生徒を対象とした市内企業の企業説明会を実施し、市内企業の人材確保を図る。

※平成28年度より実施（6回）。これまで11社24名の採用あり。

令和3年度はコロナの影響により中止。

（参加生徒数）

単位：人

区分	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28
串木野高校	27	—	81	69	82	37	39
市来農芸高校	20	—	—	—	—	—	13
神村学園専修学校	9	—	—	24	—	—	—
合計	56	—	81	93	82	37	52

（参加企業数）

単位：社

	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28
参加企業数	14	—	12	12	12	7	15

(2) 女性のための就労支援セミナー

市内在住または市内事業所で働く女性を対象とし、女性の再就職や職場環境づくり、キャリアアップをテーマとしたセミナーを開催し、女性の就労支援を図る。

区分	テーマ	参加者数
R4	就職応援セミナー	6名
R3	女性のキャリアデザインセミナー	1人※
R2	働く女性のストレス対処オンラインセミナー	9人
R1	女性の再就職応援セミナー	10人
H30	私の再就職セミナー	7人
	ワーク・ライフ・バランスセミナー	12人
	働く女性を応援します～女性の学び舎～	7人
H29	女性のための再就職応援セミナー	11人

※令和3年度はコロナの影響により参加者の減少あり

(3)連携中枢都市圏合同企業説明会

連携中枢都市圏を形成する4市（鹿児島市、日置市、始良市、いちき串木野市）で合同企業説明会を開催し、企業の人材の確保や雇用機会の拡大を図る。

（参加企業数等）

年度	市内参加 企業数	面談数	市内事業所 内定者数
R4	7社	29名	1人
R3	7社	20名	1人
R2	7社	33名	2人
R1	6社	44名	—
H30	6社	—	4人
H29	6社	—	3人

2. 市立ハローワーク運営事業

本市の主力産業である製造業をはじめ、他産業においても人口減少や少子高齢化が進むことによる労働力不足に伴う生産性の低下など、地域の活力の低下が懸念されている。

本市において、令和2年4月に「市立ハローワーク（無料職業相談所）」を設置し、地元企業への求職者の就職促進及び人手不足の対策を図っている。

（ハローワーク実績）

区分	求人件数	求人数	求職者数	採用者数	利用件数
R4	980件	1,638人 (正760・臨878)	216人	153人	3,852人
R3	858件	1,542人 (正771・臨771)	205人	140人	3,783人
R2	725件	1,301人 (正652・臨649)	293人	136人	3,419人